

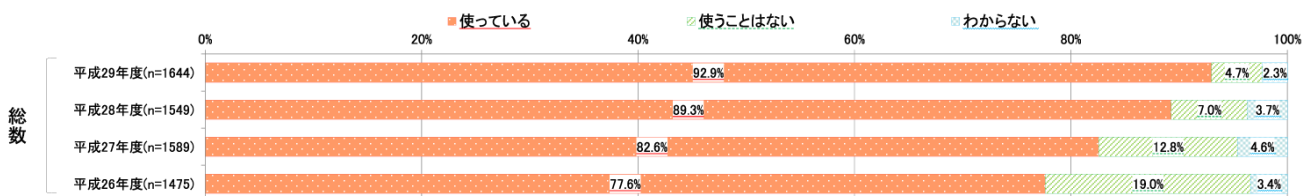
報道関係者各位

自宅と外出時で回線の使い分け、小学校プログラミング教育開始に向けて インターネット付きマンションさらに需要増

賃貸アパート・マンション向け全戸一括型インターネット接続の電気通信事業（ISP）を全国展開するイーブロードコミュニケーションズ株式会社（所在地：大阪府大阪市、代表取締役CEO：佐々木健二）は、集合住宅に特化した光ファイバーインターネットサービス『イーブロード光プラス』をアパート・マンションオーナーや不動産会社、デベロッパーに提供しています。

パソコンを使わなくても、固定回線は必要？

情報通信白書によると2015年以降スマホの利用率がパソコンを上回り、日常生活におけるほとんどの通信をスマホ等のモバイル端末で行う事ができるようになっています。マチコミクエスチョンの2017年度の調査によると、回答者6169人の内「自宅にWi-Fi環境がある」と答えた人が86.0%と大半を占めました。自宅にWi-Fi環境を用意するためには、固定回線+Wi-Fiルーターが必要なため、この86%の回答者は自宅に固定回線を引いているという結果でもあります。また「平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査」によると、スマホ使用時の無線LAN利用率は92.9%、スマホを利用する10～17歳のほとんどがモバイル回線だけではなく、Wi-Fiを利用していると発表しています。（図1）



上：(図1)青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率の経年比較(平成26年度～平成29年度)

| | ①自宅で無線LANを利用 |
|-------------|--------------|
| 全年代(N=1500) | 74.7% |
| 10代(N=139) | 84.9% |
| 20代(N=216) | 81.5% |
| 30代(N=262) | 87.0% |
| 40代(N=321) | 83.8% |
| 50代(N=258) | 70.5% |
| 60代(N=304) | 48.7% |
| 男性(N=757) | 76.0% |
| 女性(N=743) | 73.5% |

総務省によると、10～40代までの80%以上が自宅で無線LANを利用していると報告しており(図2)若年層を中心としたスマホユーザーにとって、自宅のWi-Fi環境は必須となっていることが分かります。

また、近年スマホから操作することのできるIoT家電製品など、Wi-Fi環境を前提とした商品・サービスが普及し始めています。このような市場環境を背景に、集合住宅を対象とした入居者無料インターネットは、スマホが普及が一巡した今でも導入シェアを拡大してまいりました。

左：(図2)

平成29年自宅での無線LANによるインターネット接続(前年代・年代別・男女別あり)

モバイル通信量の節約に、Wi-Fiとの使い分けが主流化

株式会社MM総研の報告によると、モバイル通信キャリア大手3社のスマホ利用者月間データ通信量は平均5.7GBと報告されています。例えば、YouTubeで動画を再生する時にかかる通信量は1GBでおおよそ90分。しかし「平成28年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」では休日にネット系動画を見ている人の、平均視聴時間は131分と報告されています。もし131分の視聴を全てスマホで行ったとすると、約3日半で5GB以上の通信容量を使用する計算となります。多くの人が動画などの用途に合わせてWi-Fi接続を使い、モバイル通信量を効率的に節約していることが伺えます。

無料インターネットなら、入居者様は月々の固定費も節約可能

前述の理由から当社では、家庭での固定回線の使い道は、パソコン以上にスマホやタブレット等モバイル端末用として需要が広がっているとみています。現在、インターネット回線を各家庭で契約した場合の料金は、マンション向けで平均約4,000円とされています。昼間は仕事など外出している人にとって、夜に利用するためだけに年間で5万円弱の支払いは大きな負担ですが、無料インターネット付き物件に住めば節約になり、必要な時にはネットが使い放題で利用できます。

壁と一体型なのでルーターいらずで簡単すっきり！



左上：(図3)埋め込み Wi-Fi 右上：コンセント型後付け Wi-Fi

また、当社のWi-Fi機器は、壁の中に埋め込まれているタイプと、コンセントプラグに差し込む後付けタイプがあります。どちらも壁と一体型になっているため場所を取らず、入居者様は市販のWi-Fiルーターなどを用意する必要がありません。(図3)面倒な手続き不要で、パスワードを入力すればすぐに使用できるため、若い世代からご年配の方まで誰でも簡単にご利用いただけるようになっています。

プログラミング教育により、今後ますます標準設備として求められ続ける固定回線

文部科学省より2020年から小学校でプログラミング教育が必修化されます。子供たちがネットワーク端末に触れ興味をもつ機会は、より増えていくと考えられます。そうした時代の流れを受け、各家庭で固定回線はこの先もますます必要とされ続けることが推察されます。

これら様々な要因を理由として、インターネット付きマンションが選ばれ続け、当社では2015年より導入棟数が前年比120%となっております。これからも「情報通信技術を通じて価値あるサービスを創造・提供し、社会に貢献する」ことを理念とし、邁進してまいります。

<出展>

【平成29年度 青少年のインターネット利用環境調査実態調査】内閣府

<https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h29/net-jittai/pdf/sokuhou.pdf>

【総務省情報通信政策研究所「平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」】

http://www.soumu.go.jp/main_content/000564530.pdf ※一部抜粋

【クエスチョン調査結果 自宅にWi-Fi(無線LAN)環境、ありますか?】マチコミクエスチョン

<http://article.machicomi.jp/question/171214/index.php?Dpid=1000027836>

【スマートフォンの月間データ通信量(GB)もアイル通信のみ】MM総研

<http://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/1702/16/news132.html>

■会社概要

社名： イーブロードコミュニケーションズ株式会社(英文名： e-Broad Communications Inc.)

代表： 代表取締役 CEO 佐々木 健二

創業： 1992年4月

資本金： 1億1,000万円(内資本準備金：2,000万円)

ホームページ： <https://www.e-broad.co.jp/>

事業内容： 電気通信事業法に基づく電気通信事業
光ファイバーを利用したインフラ構築及び技術開発
通信設備工事の設計及び施工
上記各号に付帯する一切の業務

許可・認定： 届出電気通信事業者 E-14-2067

電気工事業

プライバシーマーク認定

有資格者： 工事担任者(AI・DD 総合種等)

電気工事士

防犯設備士

消防設備士 他多数(順不同)

加盟： 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会 正会員

全国賃貸管理ビジネス協会 パートナー会員

本社： 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2-4-6 日宝本町ビル

札幌支店： 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西1-6 さっぽろ創世スクエア21F

仙台支店： 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-1-1 仙台ファーストタワー23F

東京支店： 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-7-1 CCICビル10F

広島支店： 〒732-0053 広島県広島市東区若草町12-1 アクティブインターシティ広島 オフィス棟10F

福岡支店： 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勸筑紫通ビル10F

沖縄支店： 〒902-0068 沖縄県那覇市字真嘉比1-29-16 ブランシユール真嘉比2F

<報道関係者様 お問い合わせ先>

イーブロードコミュニケーションズ 広報事務局

TEL：0120-333-645 FAX：06-6268-8698 E-mail：hirota@e-broad.co.jp

担当：廣田